

バストス週報

第三百八十号
昭和卅二年
七月廿四日
発行
DIRECTOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS 188
C. P. 112
BASTOS
C P
ANUAL
100\$—

ポンカン出荷の一考察

本年度のポンカン出荷を終えて
色々と教えられたこと...
将来考えねばならぬこと...
畑 中 仙 次 郎

本年四月上旬より出荷を始め、六月下旬を以てポンカンは一応終了した。各方面よりますますに出荷したので、確数は判断せぬが、凡そ四十箱位と推定される。内コチア扱いが二千二百箱である。昨年の取扱高は五百箱位であったが、未算は一躍二万箱の生産は期待できる。かくして年々増加の一途と迎えるであろう。本年の出荷に際しては老々と教えられる処が多かったが、先づ一つの例を以て検討してみたい。

クオリアイロ、溝部、俊氏のポンカン畑は昨年より肥料投与、殺菌及摘花、等につき大抵の手入れが行われ、一ヶ所に全面出荷せられたので一貫した経営状態が判断できるので、之れを大要発表することは、一般に参考ともなり、今後の良き指針ともなるであろうと思ふから、同氏に乞うてその要点を次に記述する。

同氏のポンカン園は、樹数四五。本、樹齢四五、植付当時アリの害で不揃いになっているので、完全成育と思われるもの三〇。本、一年位おくれたもの一五。本位であるから、本年生産したものは三〇の本位とみてよい。初年二年は手入不足で成育は多少阻害せられたが、一般から見ても良い方であろう。剪定は弱く、摘果を行うこと二回、施肥消毒各一回、出荷は五月八日に始まり、六月二十日を以て終った。出荷総数六二四箱、現地処分一〇〇箱余、合計七〇〇箱の生産である。サンパウロ市場に於ける仕切値は次の通りであった。

| | | |
|-------|------|----------|
| 五月八日 | 一六箱 | 二一〇,〇〇 |
| 五月廿三日 | 七〇箱 | 一八〇,〇〇 |
| 五月廿一日 | 一〇〇箱 | 二四〇,〇〇 |
| 六月一日 | 六箱 | 二二〇,〇〇 |
| 六月七日 | 五〇箱 | 二七〇,〇〇 |
| 六月十日 | 一〇〇箱 | 二八〇,〇〇 |
| 六月十四日 | 九二箱 | 二七〇,〇〇 |
| 六月十八日 | 一四五箱 | 二八〇,〇〇 |
| 六月廿二日 | 四五箱 | 二七〇,〇〇 |
| 計 | 六二四箱 | 二五〇,〇〇平均 |

右によつてみると、賣価は終りに近づく程漸次的に上昇しているのはポンカンが先熟に近づく程大玉になり、色彩光沢は美しく、その上味がよくなり、荷造りが上手になったがために、商品価値がたんに増したためであらうと思ふ。これを以てポンカンの特質と云うものを、良くと認識せねばならぬことを痛感する。本年四月頃より盛んに出荷して五月頃には、もうお終りになったという人もあったが、これではタンゼリーナの出盛りと時を同じうし、ポンカンそのものも未熟であるから、ポンカンも大したもの

ALFAIATARIA IMPERIAL
皆
丸山製家
ヒバリガク
タンインの
フクソウウ?



丸山洋服店謹製

胃腸に
注意に
注意に
注意に

わかせ

別には秘密も秘伝もないの！
日本のわかもと、だけは
坊っしませんわ！
ナルホド
それが秘伝ですわ

製造元 東京わかもと製菓株式会社
伯國總代理店 聖市
パウリスダ製菓株式会社
社長 中久保盛太郎

WAKAMOTO
バストス
ハサキ、葉荷
ニシカワ
イタガキ



早くケンコウ
はちされる ケンコウ

でないという下評を貰う位で、一向その真価を認められない。而も、その頃は未熟であるから型も至って小さい。若し六月中旬迄持越せば、おそろく倍の大玉になったであろう。かような次第で未熟なものを売りに出したことはポンカンの不評を招き、良い相場で見ることができず、その上、量に於ても後割りの損をしていくので、今回こそは小玉と大玉の格差が極端で、果実の大きい程度格が高く、収益も多いことを如実に教えられたのである。タンゼリーナの最盛期にはタンゼリーナに倣せ、決して未熟のポンカンが割込んでせり合ふ必要はないのである。ポンカン出荷の右に於てもコチア産量組合三十周年記念の内国農産展覧会の懇話に依り、一つはポンカンの良い宣伝の機会でもあらうと思ふ。未を充分に知りつつ出荷して、宣伝の目的は達成したが、販売に於て大失敗を招き、出荷者に大迷惑をかけたことは何んと

申しわけがない。

その後、早く早出しを大いに望み、或したが、之れに耳をかきず、急いで出荷したため、折角のよいホンカンを作り作り、充分の値うりれでできなかった者もある。サンパウロ市場の販売人そのものが五月頃にホンカンが多少過熱でないかと当方へ注意を促してきた事もあったので、その認識不足を是正し、六月に入って初めて、量販共に最期に達することを説明したこともあったようだが、ホンカンの真価はまを、よく判っていない。バストスに於ても五月頃出荷を好時と見てその頃に早く出荷した方がよろしいと思いで出荷せしめた者もあつた。こゝにや、また友人であるが、格高生産者に対して大きな迷惑をかけたことになつたのである。念々ホンカンの価格が出た時に、出つくして全然品物がないとは誠にうかつな話である。元来ホンカンは他のミカンとことなり、ホンカンは至って強靱である。年によつて一定せぬが、たとえ七月に入つても決して過熟のために落果するものではない。虫害、病菌のためには有敗して落果するが、耐病性も強く、害虫にも容易におかされないものである。落病は勿論目下、フルテンテ地方で猛威を逞しうしている。漬漬病に對しても抵抗力は至つて強い。本年は六月一杯で採收が終つたので、遺憾なく七月に入つてからの出荷に對する結果をみることは出来ない。然し多少とも未だ樹に残して居る人もあるから七月に入って如何なる様相を呈するか、充分の調査をしておく必要があると思ふ。要するに市場關係上可成運出したにして、密柑の端境期に出荷することが絶対條件であるから可成おそく開花結果を早まらば工支する必要があるが、それには色々の方法もあるが、結局なるべくおそく採收すると本年はその第一原因にならう。その反対に早期に採收すれば又次年の熟期もそれにならうで早熟になる勘定となる。本年依然好評を博し人目をおどろかした日は、外観美大玉美味三條件を兼ね備えた物が五月末頃から六月にかけて出荷し初めてかうであらう。かかる観点から宜位もさること作ら、従来従来もくり返して来た様に人目を驚かすような優秀品を作出せねばならぬ。幸いにしてホンカンは手入れ次第によつては、それが可能性のある特産品であるから、出荷に際しても旧来の不合理な方法を打破して、その先登を期せねばならぬ。客番にしても新工夫を加えて今日の如き高価なものより少くとも半減せねばならぬ。輸送にても研究する余地が多い。此後数量を増加するに従つて、ノウハウを一定することが一番大事なことになつてくる。ホンカン程、摘採に厄手なものはない。従つて甲のひと乙のひとの同じ工スペースンタルでも内容に大きな相異がある場合があるから、結局は採果場を設けて一定の摘採の、即ち銘柄というものを確立せねば、数量が多くなればなるほど、有利に販売することができない。何れの特産物産地でも産地をあげて居る処は必ず銘柄というものを作つて取引を容易にしてるのである。

同じチー木であり乍ら、出荷者を異にするために一々検査して値段を決定するようでは一定した高値で売り捌くことはできない。甲は高く売つた。否、乙は一層高値で売つたといふようなことを自慢話にし居るようでは問題にならない。即ちバストスから出荷されるホンカンは何処から出荷しても品質と数量を一定して、特級品はいくら、一等品はいくらと、価格を一定せねばならぬ。かくしてこそ文句なしに大量取引もでき、特産品として他の道徳を



ツツパンの姿態を美しくする
 1. よいクツをはいてサッソウと歩きましょう
 2. よいクツとは？ 丈夫、上品、廉価
 3. 店の名は？
 4. SAPATARIA BASTOS
 早川靴店

ツツパンの中村時計店

安心して買っていたかくトケイ店
 安くてもよい品と親切にやせわいたします

腕時計、ユビワ、楽器



ツツパン自働車
 中村
 トケイテン
 婦人方の装身具
 フクセサリーは当店

許さぬ地歩を占めることができ、生産がいかに増加しても決して懸念することはないのである。

昨年以來ホンカン植付けをおすすめして来たのであるが、今日の経過に徴して決して誤りななかつたと確信する。今后一般大がホンカンの真価を認めるに従い、その需用は漸増して、遂には他の密柑の領域迄、くい込人でホンカン時代を招来してミカンの王者位の上るであらうことは想像するに難くない。これはひとえにホンカン特有の持味が然らしているのだからである。最後に目下、フルデンテ地方で騒がれて居る漬漬病について一言申し上げたい。由来相橋栽培に際して一番厄介なものはカイヨウ病で日本に於ても、その病害のために地方によつては、或る種のミカンが栽培できぬといわれる程だ。病害のある、フルテンテ地方に発生したものは真正のものか、あるいは柑橋栽培者にとつては、大問題である。然しその点ホンカンは最も耐病性の強いものである。我がバストスに於ては、漬漬病に罹るに及ぶと、カイヨウ病にも絶対耐性されぬと確信する。こんなよい方をする、神かかりかと笑われるかも知れぬが大丈夫である。先般もある人からホンカン栽培を計画したのがカイヨウ病が恐ろしいから中止しなさいと言ふ事があったが、その早計を説明して何事か心配ないから大々的に栽培する様をおすすめしたのである。話は横道に外れたが、要するに本年ホンカンの出荷を終えて思うことは、(一)ホンカン此後生産過剰の被害を招くに増植すること、(二)品質本位で優良品を作ること、(三)出荷統制即ち採果を行い、銘柄を作り、協同販売の実行を期すべきこと、等貴重なる教訓を得た。(了)

私は斯う思う

畑中仙次郎

去る四月十三日附を以て梵真寺建立の
 為め彼岸議の組織結成に就いて印刷物が
 配布せられた。その中に名譽後援議員の一人と
 して私の名も連ねてあったが、その事前に於いて
 事後に於いても今以て何等の交渉もなく、バスター
 寺院期成委員会が如何なるものか全然判明
 せずして今日に立ち到つて居るので、史も
 角も一応の卑見を發表しておかぬはなりぬと
 思う。

運動競技や演芸等の値に就いては儀無断
 借用が若しあつたとしても良い事ではないが、別に
 問題になる程の事もなからうと思つて、事件信仲や
 系教に因つては全然事情が違つて、伯國に於
 て特にバスターの小天地に於ける私共の立
 場は頗るネリケートである。素より信仲や系
 教の自由は伯國の認むる處、これを因つてか
 く押しつけがましい事を言ふべき筋合のものな
 いと思つて、各人各様、おのがじし、信事處に
 従つて「當國はカトリコ」の國である。何を道ん
 で佛教を取入れる必要もあるまいし、とか
 バスターのイクレイジヤは建築中途で中々
 進捗せぬ、今日吾等の子弟の精神的殿堂
 が完成せぬの、今更佛教のお寺でもあつた
 とか、「日本直末の旧移民が老後のバスター
 怨として佛教に帰依し極樂往生ができれば
 結構な事である」とか世々の意見を各方面
 から聞くが、事實に於て在伯邦人の今日
 の立場上之れが帰一を望む事のできぬ事
 情にあるも止むを得ぬであらう。

今私は斯う問題に就いて論断しよう。昔毛頭
 考へぬ、たゞ私は他人の立場も考へず、前後
 の事情も考慮せず、無断で筆を走し他人名義
 を表し放して何等の挨拶もないと云ふ事に
 對して抗議する。斯う行為がバスターの社会
 に於て今後益々頻發するやうなことがあつては誠
 に危険千萬である。物を盗めば罪に問わ
 れる。他人の名を盗んでも刑事上の犯罪を
 構成せぬかも知れぬが、考へよ様に依つては形以下
 の問題より形以上の方が遥かに重大であ
 る場合がある。

如何に良いことでも一応は相談があつて然る
 可きであらう。尤もパンフレットの結尾に「一
 々お伺ひして芳名を記載したものはありませ
 んの、或は御氣に染まぬ方もありませうが、信仲
 の為めり企画ですか、御ゆるし願ひします」と
 断り書きがしてあるが、私は氣に染まぬ、斯
 う断断の通辭で済ませられるものではないと思つ
 る。多少奇矯な比喩ではあるが日本は義賊とい
 ふに不可解な言葉がある。貪乏人や困窮とい
 う人達を助ける為め、盗み強盗を働かす。それ
 を「義賊」と云ふのを助ける。之れは義侠の行
 為である。他人をいためた罪惡が伴ふよ
 うな義賊と云ふのであらうが、信仲的企画には

誰れも文句はいうまいと坊り捨て御免の事柄は
 甚だ迷惑である。
 平和なバスターの社会に於て波乱を卷き
 起すやうな行為はしたくないので、永い間熟考し
 たが例のパンフレットが移住地以外に相当廻つ
 て居るといふ事を言ひたいので、之れを不問に附
 して永久に關に繋る事は現在に素より今
 後に於ても移住地内外に誤解を招く恐れ
 があると思つて、敢えて一筆を筆して意見を
 表示を致す所以である。之れに對して又々
 々の批判もあると思ふが、若し私の考へ方が誤り
 居ればよろしく是正して頂きたい。

入植祭

舞台を背に飲み明かしけり入植祭 秋扇
 入植祭妻の踊りさのそき見る 千エ
 入植祭明治の夏扇なつかしや パウロ
 椰愁を唄に踊りに 入植祭 奇峯
 おどり浴衣、大喝味、入植祭 オオキ子
 バスターは子供の故郷、入植祭 水心子
 入植祭はボーイフレンドでさし娘よ たね子

電力のムラを、そのままに

放置しますと、

ラジオ、冷蔵庫、蛍光灯、電熱器等

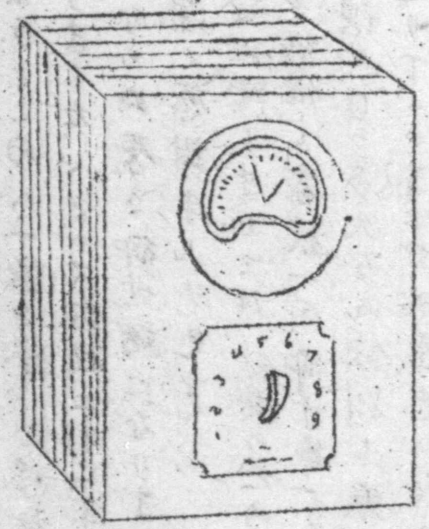
を、いためます

トランスホルマドール

クローン

で調節しましょう

電燈だけでも平均に明るなる



Transformador KRON

使途により大小各種あり
 適当の品、電力計算いたします
 上ヶ島製粉工場
 上ヶ島 晴 支

御見舞を感謝します

わたくし儀去る七月三日ツパンに赴く
オニバスに乗りフロスレツソ区を一寸は
なれた処で車の故障の爲め両膝 脱
臼の負傷を蒙り、サンパウロへ参りて治療
受け、御かけてどうやら快方へ向いました
皆様に御心配をかけ、御見舞を受け誠に
ありがたうございまして

一九五七年七月十七日

西ヶ 迫 信秀

知友各位

西ヶ 迫 氏 奇禍

七月三日、雨の中を西ヶ迫氏外七八名をのせたオニバスが十
一時ころ、フロスレツソ区をよほれた所那 前輪がフツとび
速力がついたまま、右傾転覆せんとした。運転手はけんめい
にブレーキをかけたので、車はドッと、とまったが、はづみと
くって乗客はみな前のめりになって前席の背にかがりつい
たが一番 前にのつていた西ヶ迫氏は、つかまる処がないので
前のめりに両膝をついた、ところが運わるくそこに道具はこ
があり、全物にぶつったので膝頭を脱臼したのである。氏
は一度バストスへ戻り、レントゲンをとった上、おくさんに介
抱されて聖市に赴いたが中々の重傷で、治ることは流石が
日数を要するとのことである。いまの処ねたさりで動ぜない
とんでもないところで、いつさいなんにあうものやら、西ヶ迫
氏の場合、全く気の毒という外ない。外の乗客は擦傷傷
程度ですんだ由

會館 椅子 發註 込し

かねてバストス婦人会で會館椅子のキフを一般から仲介、大体
予定の金額に達したので、去る七月十九日夜バストス産業組合
事務所内関係者十数名、某より發註につき相談会を開いた。山
中陽之助が約八社に問合せオルサメントをとったものを参考に
に討議した結果
一、最も適當なネカンと思はれるドルチーナ工場から設計と
括いて、設計させること
二、イスは作りつけとなるので、バイレは同所ではできなくなる
が、農産品貯倉だけは、カネイラの上に台をつけるようない
同所で作れるようにしてきたい。
三、イスは七百五分なりべることかできるが、多少の余地とのこ
すと、もう少し減ることになる。
四、イスはシネマカンのと大体似たようなもの、近日中実物を
とりよせること。
五、据付け完了迄の責任者を、山中陽之助氏、西川誠一氏、
婦人会、青玉園より各一人を選出し、此の四人が万事仕事
をすること、發註后九十日位で完了の由、と話がまとまった。

移転につき御あいさつ

私ことクロリアⅡ區に居住して居りまし
たところ今回家事の都合により聖市郊外
アジバイと云うところへ一家を挙げて移転す
ることになりました。バストス在住二十七年の
間海山も奮なりぬ厚き御世話になりました
実に有難く深く感謝申上ります。

バストス出發に際しましては、私共のために
態々送別会を御催し家族一同御丁寧なる
御もてなしに預り且つ多大なる飲別を賜わり
途中御見送り下さいまして御厚志の段成に
有難く感謝に堪えない次第であります。
実はいちいち、書状を以て申上りるべきであ
りすが移転早々多忙に取り紛れ、失礼乍
う週報紙上を借りまして、御礼の言葉に代え
御あいさつ申上りさせて頂きます。

終りに塔様の御健在と光栄なる御發展御
幸福を祝福申上ります
一九五七年七月二十日

高 柳 虎 雄

クロリアⅡ區
第三組 御一同様
其他御中

郵便物受取りについて

過日C區のKさんが郵便物受取りについて、次
のように意見をのべられました。
もう、当然くるはずの手紙の送事がないので、ユービン局
でたがねたり、おまへのは、ないといった。週報も、もう二回
も受取っていない。たぶんユービン局で、あやまって他の人に
渡したものであろう。ユービン局で知らぬといえは、それ道
で、それ以上送取することはできない。
そこで提言したいのは、受取る方で、自分の宛名である、ユー
ビン物を受取った場合は、必ずユービン局に返すか又
は宛名人が判って居れば、わたしてやるか、そういう信義
心を、くよくよみんなにもういたいと思ふ。
Kさんの提言は、ごもっともで、ぜひ、実行したいものです。
カイシヤを持つている人たちでも、よくまちがって新聞など
他人のが入って居ることがあります。人向うすることですから
まちがいは、必ずあると思ひます。カイシヤから取り出して、そ
の場で一応しうべ、自分のもの以外の宛名があったら、すぐそ
の時ユービン局に返してやるべきでしょう。局の人、その時
必ずオカリガードといひますよ。
一人の家へもってかへつてしまふと、つい、そのままになり
がちです。自分にそういふことがあるように、ひとにも同様
なことがあるでしょう。お互いに人の気もちになって、一つ
みんな、その気になりましょう。すぐその場を、自分のもうで
ないものは、返してしまふように。

農産品評会入賞

二十九周年入選祭行事 縣青保

蘭 (橋本養種之部)

| | | | |
|----|-------|---|---|
| 一席 | カスカッタ | 山 | 門 |
| 二席 | カスカッタ | 山 | 門 |
| 三席 | カスカッタ | 山 | 門 |
| 四席 | カスカッタ | 山 | 門 |
| 五席 | カスカッタ | 山 | 門 |
| 六席 | カスカッタ | 山 | 門 |
| 七席 | カスカッタ | 山 | 門 |
| 八席 | カスカッタ | 山 | 門 |
| 九席 | カスカッタ | 山 | 門 |
| 十席 | カスカッタ | 山 | 門 |

野菜之部

| | | | |
|-------|-----|---|---|
| トマテ | アルト | 山 | 一 |
| アスパラ | アルト | 山 | 一 |
| ニンニク | アルト | 山 | 一 |
| ジャガイモ | アルト | 山 | 一 |
| カボチャ | アルト | 山 | 一 |
| 大根 | アルト | 山 | 一 |
| アズキ | アルト | 山 | 一 |
| 大豆 | アルト | 山 | 一 |
| 小豆 | アルト | 山 | 一 |
| 赤豆 | アルト | 山 | 一 |
| 黒豆 | アルト | 山 | 一 |
| アサヒ | アルト | 山 | 一 |
| アサガオ | アルト | 山 | 一 |
| アサゲ | アルト | 山 | 一 |
| アサギ | アルト | 山 | 一 |
| アサヒ | アルト | 山 | 一 |
| アサガオ | アルト | 山 | 一 |
| アサゲ | アルト | 山 | 一 |
| アサギ | アルト | 山 | 一 |

迷ひ郵便物

| 受取人 | 出 入 |
|-------|-------|
| Mクズエト | 殿(バス) |
| 高崎ノホシ | (ワオ) |
| 三鼓 | (金) |
| 吹田 | (E) |
| 甲田 | (E) |
| 池田 | (バス) |
| 及川 | (バス) |
| 河野 | (バス) |
| 八上山 | (バス) |
| 野島 | (バス) |
| 小野 | (バス) |
| 柳 | (バス) |
| 佐藤 | (バス) |
| 板山 | (バス) |
| 水 | (バス) |
| 堤 | (バス) |
| 小野 | (バス) |
| 松田 | (バス) |
| 古賀 | (バス) |
| 八木 | (バス) |
| 佐藤 | (バス) |
| ホリス | (バス) |

週報社

| | | |
|----|----|----|
| 鶏卵 | 八八 | 五九 |
| 野菜 | 一五 | 一二 |
| 果物 | 一六 | 一三 |
| 計 | 三九 | 一五 |
| 計 | 二六 | 一五 |
| 計 | 一五 | 一五 |

Nossa Relojoaria TUPA
AV. TAMOIOS 785



各種時計 貴金属 アリアンサ
各種万年筆 (修理一式迅速正確)
信用を重んずる店
サホンジ商会

時計店

諸ヲ作り乍ラ三ヶ年

小野山三郎

水源ハワカラナイが先ニ南川ハ流レテイルトイウ言葉ガアル。今日ノ社会デハ停止シ変化ノナイトイウコトハ違レテイルコトデアル。同じ道ムニシテモ、一方ガ非常ニ努力シ進ミ他方ハ道ヲシテイルコトガアルガ、コレヲ経済現象ノ面ニ見ルト、立地条件ノヨイ人ハ進ミ乍ラ大リ、条件ノ悪イ人ノ結果ハ移成五十年ノ歴史ニ照シテモ明カデアル。

新移民トシテ思進マ振ル土地モ持テナイ私チノ理論ハ空想スル。頭ヲ引込メレバ尻尾ガ出、シツホヲツツケバ頭ガ出ル、頭ト手ヲ同時ニツツケバ尻尾ト足ガ出ルバカリカ。農サメハナイガアセラナイコトニシテアル。

バストス洗

熱帯ヤ亞熱帯殊ニバストスノ標ナ砂地ヤ乾燥スルトコトハ、露作ト云ヘト正、ドンナ神方ヲシテモ葉ガ枯レテシワイ、折角持ツテモ栽培理論モ徒スニ術ガナカッテ。

三ヶ年ノ月日ノ流レノ中ニヤハリココハ、コト流、バストス洗ト云モイウカ、莖葉モシナビル様ナコトモナク、葉ト根ト各節カラ同時ニ出シ、然モ全体ノ約合ヲ採テ乍ラ年中栽培、形、ヨリ期ワ、多收ヲ望ムモ容易ニ行ヘル様ノ神方、作り方、理論ガ生レテ、ヤサシイ基礎理論ヲノミコンテオサバ応用理論ガ生キテアル。オ互何事ニヨラス、空業レタ様ナ親ハ禁物デアル、諸作りテモ日本ニハ一アルケル当リ五土方キロノ大先生ガアリ、メキシコ大統領ニ招カレ技術指導ニ行カレテイル。

私ハ常ニ甘蔗、原産地、一ツアル当地ノ自然環境ト日本ニ若ッテイルナドトハ考エテイナイ。カエツラババストスノ標ナトコヲ日本ニ求メテモ中々見ツカラナイトオエテ居ル。若ッテイルコトハ極難位ノモノ、ココニ集团的ニ成当ニ。トシテ宛位ノ收穫ヲアケテ見タイト思フノモ人情ナケル。オ互ハモット彼ガフ様ガアツテヨイネハナイカ。

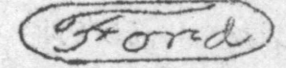
ペンナ欄イテ十月月、私ハ私ナリニ或ル構想ト計画ヲ持ツニ到ツタガ、ソレハ別ノ機会ニユキリ、私ノ説ク諸ノ作り方理論ヲ行ナツテイタケレバ、ソノ場カラ上手モ下手モナクナル、活カスル方ハ、ソノ年カラ獲着ヲ私ヨリ或願モ上リ、先生モナツテイタケルコトヲウケアワ。

コンナコトモアル、ニ米年方ノ高畦ニ、一・三米ノ苗ヲ植エテ4株ソノレノ同ジ条件ノ下ニ播キノミヲ違エテ作フタガ諸般ハ最高ニ五〇個、重サチハ四八キロノ株ガ最高、チ三二・五ト四月ニ〇日ホトリ、コチチに高品、八十三日前ノ一換ノ收穫ガ最低デアツタ、ト二南十メ、以上十三メ入フタコトヲ思エバ作り甲斐モアルトイウモノアル

免ニ角利用ノ面、殊ニ加工工業ノ確立ヲ計リ得レバ、バストスノ前途ハ誠ニ洋々アルモノガアル。能クフルコトヲ計ルモ大切カ、トルコトカニ始メルノガ標準トイウモノカ。

新巻ノ云言

二十九回ノ入植条、友ニ送リテ、オモシキ返書、筆モスベル、我々ハ自分ノ前途ニ對シテ第一利用テキル(時間空間

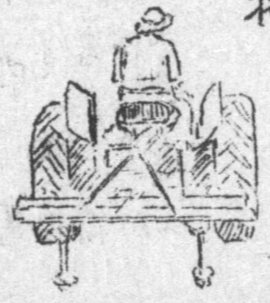


A Agencia Ford de Tupã

Comunica aos senhores Lavradores em geral, que tem para pronta entrega os afamados Tratores Fordson a Oleo Cru' ao preço de 220. mil cruzeiros. É uma oferta especial que os senhores Lavradores não devem perder. Visitem, pois, sem qualquer compromisso.

今又トラットールフォードソンは世界農業界の寵児です。あなたの農場になくなくてはならぬフォードソン。アレックス220コト、お祈り致します。

特別提供 決してあなたに損をかける。百聞一見にシガサ。まあ一度見るだけ見て下さい。



ツパン アゼンシア フォーールドへ

カラ始メ)多クノモノヲ持ツコトニオドロク。トコロガオ互ハ考ヘ方ヤ物コトニ対シテ算シテ意見ヲ持ツ自由ガアルノカ、實際ニハ誰レモ意見ノ個立スルノノ極度ニキライ、自分カラ算シ放棄スル傾向ガアル。然レシウカケラト云ツラドワイウ場合モ其理ヲ追及スル人選ニトリ、自分ノ主張スル意見ガ重要ニ於テマシガツテイテヨイトイウ道ヲ、ナイコトハ勿論デアル。ソノボサシキニ居ルノヨウニボクタ親ヲシタ人ノフェルノハ縁ナキ衆生トサトツタノ云モナク沈黙ハ企テリト、教エテホツテアルノ云モナイ云ウ。ソコハヤハリ自分ノ主張ガ到底判ツテモラエナイ、益ナイ環境ヲオモウカラテアルト思ワレル。

今日モアル新移民ガ話レテイタガ、ソレハ一線ノ別ガレタ我々ノ共通ノナヤミデアルガ、私ガ放逐自トイウモノハ、得ラシク、確ノモノナイテ放逐レ、本島ノコトガバレルコトヲ恐レルノ余リ次カラ決ヘト、ウソモ必要ニナリ、遂ニ八人ヲ悪人トシテテリスルラシイ。私チハ決シテソワイウ危險ノ同連ノモトトイルモトツツミテクナイ。ウワサト云フモ、八馬チハジマツテモ、始メ八ニカヘルトキニハ底位ニナリカネナイ。

森羅万象トイウカ、自然トイウカ、ワレラニハ均合モアリ、法モアル人間ニハ時トスルト無法トモアルガアル。農業ノ進歩ト云フコト。今日テハアヲル部門ニ於テ法則ノ把握ニ科学的ナ究明ガ行フレテイル。我々ニ最モ関係ノ深イ農業部門ニ於テイテモ、法則ヲ関係ノ利用シ得ルモノヲ最モ活用、ソレヲ栽培カノ経営道直結シテイル所ニ、メカニイ躍進日本ノ農業進歩ノ姿ガアル。實際

社会現象ノシメニ技術感覚が個立スルトイウノデハドウニ
モナラナイ

食ヲテ行クトイウコトハ、ドコデモ同ジアル筈ガ、ココカラ
ジルモ、人間共ヨリ動物ノ方がヨリ容易ニアル様々、百姓
ガ農業トイフナリワイ、ニ於テタチ食フテ行クトイウコト
タケテモ一層折ラネバナラヌ世ノ中ニナソテ来ドコトガワカル
コノ地ヲモ志マレタ時代ノ人々ハヨクカッタガ、今ハハ、土地
作物、氣候、等々ワマク組合セルト同時ニ、自然ノアジユカス
極度ニ利用セナケレバナラナイ、モシ、アジユカガナケレハ人爲
的ニ環境ヲ作為、良化スル科学的ニ農業經營ヲ行クコトテナケ
レハ治路ヲ見出スコトガチキナイ、

モシ私ヲチガワウイウガニナレバ、日本ヤ欧米等ノ林ニ
過去人類、科学的業績ト發明発見ノ系列ヲ取使スルコトガ
チキルシ、母國ノ林ニ我々ガソレヲ栽培ヤ、經營ニトリ入レレバ
最モスラタ集約的ナ表現モナシ得ル約束サレタ將來モ可能
ナル

ソコテ我マダ農業ノ生産、性ヲ高メル上ニ最モ大功ナコトハ
誤リノナイ技術ノ価値判断ト機動性ト操作体得ナル。若イハ
クノコウシタ態度ガ農村文化向上ニトツテ大功ナコトハイワ
ズナイ。コトニ科学ノ裏付、ナイ農村経済文化ハ影ガウスイ。

フラジルニ於テ我々ニ課セルタ從來ノ作物ヤ栽培法ハ肉体的
ニモ時間的ニモ余リニモ超量労働ノ上ニ立ツ。科学ノ大規模ノ
応用ヲ不可能ニシテイル一因ニ人カノオドロクベキ浪費ヲアケ
ルコトガチキル、コウイフ環境カラ個人ノ腹ガ、長シ望ムニハ
余リニモ暇ガチキ

左漢トシタ農村ニ散在スル、インテリ達ノ文化向上ニ対スル文化
意欲ニ寄リアケルニスベガチキ

特許ノ創設保護シタ、ハ英雄ナホレオンガ体ヲモトスル百
姓ノ農業技術ニハ特許トイウモノガチキ、他國新シイ作物ヤ
技術ノ導入ヤ其ノ他科学ノ業績ノ普及ニ対シテチキエモ、何ラノ
代償ニ支払フチキナイ、コレヲ利用セナイノハ本當ニドワカシテ
キルトイエル、若イハ人達ガ奮起シ本當ニ立ケ上リ、協カサレルナ
ラバ、当地ヲフラジルノ意欲ニセシタートスルコトモ夢ヲハナ
ラ

大野 親 翁 御 金 婚 祝 白

此 眠 奇 奇 米 子 富 美 巴 川 口 眼 派
親の御り わかへにへる 老 史 婦
着るはれを金婚の奇を記す
輕跳ねて金婚の喜 地のを奇
鶴走の謡や金婚園の春
若竹や孫はお匠者よ 花の祝
おしどりの水足引き合して水の香

御 礼

一金 五千クルセイロス也
右は去る七月十四日殿父大野親翁様の定寿祝並
金婚式の祝賀と値此れ、その記念として、当会へ
御寄附下されました、厚く御礼申上げます
一九二七年七月十九日

バストス連合日本人会長
谷 口 章

大野 莫 雄 様

合計 山本 一男

日 課 の 影 牛 丸
味、カ南の風はいと寒し
七月にして、フラジルの冬

イカワウ
フラジルハ果樹ヤ作物ノ野生原種、及ビ將來利用ニ供サレルテ
アロウ然多ノ有用植物ヲモテ、品種改良ニ利用貢獻スル日モ近
イコトト思ワレル。實際フラジルニモ、生物ガソレゾレノ環境ニ
好適ニシテ表現型ニヨツテ環境ノ作用ニ反シテアルガ、之レハモ
トモト多クノ因子間ニヤ生態型ヲモツ個体群カラ成リ立ツテアルノ
デ、アラジルノ色々ノ複雜ノ環境ガ、変異ヤ進化運動ヲ促シテ二
外ナラヌト思フ。

ソコ同ジ生物ガアル人間共ノ集リテアル繁盛ニツイテ見テモソ
ノ繁盛ガ繁榮シテ行クニハトウシテモソコニ大小無数ノ條件ガイ
ル。ソノ立地、身操ト合致、可成性ヲ考察スル共、自然的條件ト
社会的條件、最モ有利ナル点ニ技術現象ノ繁盛スルノヲ見ル。
(次号ハワツ)

Prefeitura Municipal
de Bastos
AVISO
Por meio deste avisa a
todos contribuintes do
imposto Predial, que
o prazo para paga mento
do 2º semestre sera ate
31 de julho de 57 sem
majoração de 10%
バストス市役所
納 税 通 知

西瓜・メロン・胡瓜 などが
此るいの殺虫剤
ベンゼホース 及び
タントックス

初期駆虫剤の御用意は、できません
たか？

できていないお方は大至急御用命下さい
本月中に御注文を致揃えたいと
存じます。一日も早く...

又、右のお支払いは就さまよう日は
年末拂いしの、御相談に心をこめて居ります

肥料と薬物は最も信用と経験と
誇る、太郎田屋嘉右衛門 老舖と
御利用下さい

Casa Taroda
太郎田 商店


市役所よりアビーズ

本年度下半年期家屋税七月末日迄に支拂
つて下さい(一〇%セシマジョラソンです)
納税義務者はお忘れないうように

カフエカール見学旅行

来る七月二十八日(ドミンゴ)朝七時
ポントネオニマスより出発 乗客各自持参
アムマンチーナより十八キロ奥
参加費(自由車費と一)約五十軒
模範農場に色々なカフエ栽培されて、施肥管理等
の比較対照が出来るそうです。支配人が日本人の方で何かと
衛世話下さる由
見学申込は各巴支那青年団役員、中央聯合役員
河部、上山へ預けます。

各位 バストス聯合青年団産業部

御礼

入植者当日左記の方より本団基金としていたゞりた
バウル 小田 勇 様より 五百軒也
太郎田 衛 様より 二百軒也
左記の方より選抜野球大会に賞品として寄附を頂戴しました
水馬 久 様 山内 武彦 様 牛越バカール 様
横田 茂吉 様 カミチバストス三場、清家谷口映画館、
木村バカール 様 池内バカール 様 山中陽土村 様
相原バール 様 ツルマカール 様
又終日審判、射撃などに御世話下さった方々に御礼
申上ります。

バストス聯合青年団 総務部

急告

来る七月二十九日午後一時より
バストス産業会館まで
西山栽培者座談会
所属組合に關係なくごなたも
御いで下さい
世話人 バストス産業部

Baktamão

産卵に！
育雛に！
防疫に！
うみ疲れに！
せひ御試み！

販売人 中浦三司
発売元 小沢 勇
レヤカラ



寒冷御見舞

餘寒の折柄皆様御健勝でございませ
すか御伺い申上げます。

良い苗木が沢山出来ましたから
御用命下さい。

- 一 ミカン苗各種
- 一 柿苗(タウバテ種丸)
- 一 フドウ苗(白佛種)



一 日本松(根上り完了、枝作り中)

一 其他庭園公園用植木及苗木

観賞用樹種々

一 免疫性柿ノ台木



尚予約中の方はなるべく速く
御引取り下さる様御願いたします

シャイカラ 角 藤

ディーゼル
エンジン
モーター修理

水揚げポンプ据付及修理

機械等の故障一切責任を以て
修理致します故御用命下さい
出張いたします

山中 正 夫

Debulhador de Milho



みりよの脱穀

養鶏家の皆様
自家飼料を用いて 奥地養鶏の実力を
發揮いたしましたよう

御用命は バール水口 又口

カネイヤ 向山側の
野 沢 一 衛

まで